

令和 4 年度第 8 回理事会及び第 3 回合同会議議事録

1. 日時：令和 4 年 11 月 8 日（火）

第 8 回理事会 午後 6 時 30 分～午後 7 時 45 分

午後 8 時 00 分～午後 9 時 00 分

第 3 回合同会議 午後 7 時 45 分～午後 8 時 00 分

会 場：Web 会議

出席者：芳本副理事長、井阪理事、射場理事、村西理事、千葉監事、
大井局長、辻畑局長、田籠局長、大槻局長

書 記：天野

【議題】

I. 令和 4 年度第 8 回理事会議題

1. 承認事項

1) 令和 4 年度第 7 回理事会議事録

資料参照のうえ承認された。

2. 報告事項

1) 各局事業進捗報告

各局長より報告があった。

大井局長より、12 月分でオンライン会議費用を一度締めくくるとのこと。全体収支の詳細はまだ不明であるが、大きな赤字は無く、府士会からセンターへの手当てが 10% の減額になったとしても運営は可能な状態との報告があった。

辻畑局長より第 35 回学術大会の HP 作成時に選定業者の相見積もりが必要かとの相談あり、事務局としては他社との比較が難しい特殊な場合に限り相見積もりは求めないが理事会の承認は必要との回答あり。今後、ホームページ作成に当たり学会運営担当側から業者選定について相談が出ることが考えられる。センターとしては他の県士会がどこの会社を使っているのか確認して比較するのもよいが、グーグルサイトを使うよう今後は進言するのがよいのではないかとの意見も見られた。

大槻局長より、センター主催の症例検討会は現在 4 支部合計で 7 演題のみ。各施設でおこなわれている士会（承認）症例検討会が増加してきていることも影響しているものと思われる。申込期間の延長も考えているが予定通り、各支部で開催予定。

3. 審議事項

1) 認定 CE 講習会受講費について

射場理事より資料の通り説明あり。1 コース 3,000 円にて最大 120 名参加で 36 万円の収入、支出は 152 万円の予定とのこと。賃借料としての会場費の再検討や Basic コースを安くし Advance や Master コースを高くするなどの方法で、できるだけ支出を 100 万円以内に抑える方法の検討のため、審議の結果、継続審議となった。

2) 認定臨床教育者講習会（認定 CE 講習会）の講師基準について

射場理事より資料の通り報告があった。担当コマ数について 2 条③がマストになると大阪で適応となる講師は 3 人しかいないのが現状。中央講習会が現在開催されていないのならば、条件達成できる人が限定的となってしまうことが挙げられた。審議の結果、メール審議にて継続となった。

3) 305 事業 研修会企画について

射場理事より資料の通りに報告があった。本研修会はワーキンググループを作成することを狙いとしているため、対象を府士会員全体ではなく、養成校教員、教育関係の認定・専門理学療法士とする。広報は対象者のみへ案内する。プログ

ラム構成に「OSCEの社会的意義（社会的見地からみた必要性）」の項目を含めること。審議の結果、承認となった。

4) 後期研修における講師バンクの創設について

射場理事より資料の通りに報告あり、審議の結果、承認となった。

5) 2023年度理学療法講習会（助成金あり）の申請

村西理事より報告あり。受託研修部で募集を行った協会主催理学療法講習会より1件問い合わせあり。講師には、次回開催時申し込み人数に達した時点で締め切る必要性を伝える方針となる。審議の結果、条件付きで承認となった。

6) 第5回生涯学習研修集会の開催日および会場について

村西理事より資料の通り報告があった。前回提案した9月30日、10月1日となれば国際会議場のキャンセルが必要となるが12月末までであれば30%（80万円）のキャンセル料となる。今後の費用面やハンズオンセミナーの開催を考慮すれば大和大学の方での開催を検討する必要あり。対面するのかオンラインでするのかで会場の規模も検討が必要であるとのこと。

他団体の学術大会との重なりを考慮し、かつ会員からの意見で連日の参加が難しいことから開催日を7月から9月の最終週に日程を変更する方針となった。それに伴い会場も国際会議場から大和大学に変更となる。国際会議場の費用と大和大学での費用を比較し、次回理事会で詳細を提示することとなった。審議の結果、継続審議となった。

4. その他

- ・村西理事より研修集会について当日の感想や意見を求める発言あり。理事・監事より、①講義のボリュームが多い。②質疑応答でかみ砕いた説明や新しい分野に関しては座長も協力して受講者が理解しやすいよう掘り下げてほしい。③時間帯的に女性職員が参加しにくい。④ウェビナーは参加中に参加者自身で名前の変更ができないので、事前の対応が必要との意見あり。

今後の検討課題としていくとのこと。

- ・東支部が市区会長会議にセンター職員も参加してほしいとの要望あり。1部員がその場での回答は難しいため、質問があればセンターに問い合わせてもらいよう伝える方針となった。

II. 令和4年度第3回合同会議

審議事項無し

大阪府理学療法士会生涯学習センター 理事会議題

【審議】

提出者	射場一寛	職名	教育局 理事
議題	認定 CE 講習会受講費について		
内容及び提出趣旨	<p>講習会開催は Basic を 2 回、Advance を 1 回、Master を 1 回で、合計 4 回開催予定しており、予算支出総額 1,521,000 円となります。</p> <p>1 回あたり 30 人を定員としております。</p> <p>本事業の目的は、臨床現場での学生や新人に対する指導実践の能力を向上してもらうことであり、たくさんの会員の方に受講していただきたいと考えます。そのため、受講費におきまして、1 コースあたり 3000 円（共通）で承認いただければと思います。ご審議のほど、よろしく願いいたします。</p> <p>収入 3000 円✖120 名（最大）=360,000</p> <p>開催予定 各コース定員 30 名 Basic コース（最小人数 12 人） 2 回 8 月と 9 月 Advance コース（最小人数 12 人） 1 回 10 月もしくは 11 月 Master コース（最小人数 10 人） 1 回 1 月もしくは 2 月</p> <p>開催形式 Basic コース 現地開催 Advance コース 現地開催 Master コース オンライン開催</p> <p>添付資料あり ・認定 CE 講習会予算案.xlsx</p>		
理事会での意見・内容等	1 コース 3000 円にて最大 120 名参加で 36 万円の収入、支出は 152 万円の予定とのこと。賃借料としての会場費の再検討や Basic コースを安くし Advance や Master コースを高くするなどの方法で、できるだけ支出を 100 万円以内に抑える方法の検討が必要とのこと。		
審議結果	審議の結果、継続審議となった。		
備考	対応部局または理事氏名 教育局 射場一寛		

大阪府理学療法士会生涯学習センター 理事会議題

【審議】

提出者	射場一寛	職名	教育局 理事
議題	認定臨床教育者講習会（認定 CE 講習会）の講師基準について		
内容及び提出趣旨	<p>認定 CE 講習会の講師基準を作成いたしましたので、ご審議のほどよろしくお願いいたします。</p> <p>添付資料あり</p> <ul style="list-style-type: none"> ・認定臨床教育者コースの講師に関する規程_射場修正.docx 		
理事会での意見・内容等	<p>担当コマ数について2条③がマストになると大阪で適応となる講師は3人しかいないのが現状。中央講習会が現在開催されていないのならば、条件達成できる人が限定的となってしまうことが挙げられた。</p>		
審議結果	<p>審議の結果、メール審議にて継続となった。</p>		
備考	<p>対応部局または理事氏名 教育局 射場一寛</p>		

大阪府理学療法士会生涯学習センター 理事会議題

【審議】

提出者	射場一寛	職名	教育局 理事
議題	305 事業 研修会企画について		
内容及び提出趣旨	<p>〔臨床実習教育基準に関する事業〕として、大阪府下各養成校で行われている臨床実習前評価について、ワーキンググループ（WG）を立ち上げ、臨床実習前評価の内容を検討し、大阪府下で統一した「臨床実習前評価」を実施したいと考えている。</p> <p>WGの構成は養成校教員に加え、臨床に従事する理学療法士にも参加いただくことで、臨床実習現場からの声も取り入れたい。</p> <p>そこで今回は、臨床実習前評価の必要性を伝え、WG設立についての理解・賛同を得ることを目的としたいと考える。</p> <p><研修会事業> テーマ：「臨床実習事前評価の統一化に向けて」 日時：令和4年3月1日（水）～15日（水）の中で調整 平日 19：00～20：00 開催形式：Web開催（使用媒体 ZOOM；生涯学習センターのアカウント使用） 対象：大阪府下の理学療法士養成校教員 大阪府下の教育関係認定・専門取得の理学療法士 その他、大阪府理学療法士会会員 参加費：無料 参加方法：web登録（Google フォーム） 定員：90名 <予定プログラム> ・臨床実習事前評価の統一化を目指す背景 ・医学教育における OSCE の紹介〔客観性を持たせるということは…の理想像を紹介〕 ・WGで何を検討し何を決めていくのか （講師：三木屋 良輔〔森ノ宮医療大学〕，辻岡 大輔〔清恵会第二医療専門学院〕）</p> <p>添付資料あり ・令和4年度 305 事業研修会企画書 (10.28).docx</p>		
理事会での意見・内容等	本研修会はワーキンググループを作成することを狙いとしているため、対象を府士会員全体ではなく、養成校教員、教育関係の認定・専門理学療法士とする。広報は対象者のみへ案内する。プログラム構成に「OSCEの社会的意義（社会的見地からみた必要性）」の項目を含めること。		
審議結果	審議の結果、承認となった。		
備考	対応部局または理事氏名 教育局 射場一寛		

大阪府理学療法士会生涯学習センター 理事会議題

【審議】

提出者	射場一寛	職名	教育局 理事
議題	後期研修における講師バンクの創設について		
内容及び提出趣旨	<p>後期研修におけるC項目において、センターでも士会オリジナル研修を実施しています。センターとして、若手の講師育成を目的に講師の機会を与えたいと考えます。</p> <p>そこで、後期研修のC項目（士会オリジナル研修）において、講師バンク（仮称）を創設したいと考えます。</p> <p>■ 講師バンクへ登録ができる基準 以下の①～③は必須項目とし、④はいずれかに該当すること。 ①登録理学療法士以上であること ②経験年数6年以上、11年未満 ③大阪府士会員であること ④以下のいずれかに該当すること</p> <ul style="list-style-type: none"> ・講師に立候補する者 ・市区町村士会長の推薦者であること ・センターから後期研修講師の推薦をされた者 <p>■ 講師育成の手段</p> <ul style="list-style-type: none"> ・受講者へアンケートを実施し、フィードバックを実施 ・講義テーマに合致した経験年数11年目以上の専門・認定PTに聴講していただき、講義内容のフィードバックを実施 <p>ご審議のほど、よろしくお願いいたします。</p> <p>添付資料あり</p> <ul style="list-style-type: none"> ・後期研修講師バンクについて_射場加筆.pptx 		
理事会での意見・内容等			
審議結果	審議の結果、承認となった。		
備考	対応部局または理事氏名 教育局 射場一寛		

大阪府理学療法士会生涯学習センター 理事会議題

【審議】

提出者	村西壽祥	職名	生涯学習局 理事
議題	2023年度理学療法講習会（助成金あり）の申請		
内容及び提出趣旨	<p>（提出趣旨） 受託研修部で募集を行った協会主催理学療法講習会（助成金あり）について、1件のみの応募がありました。昨年度も同講習会を申請しているが、当センターより下記講習会を協会主催理学療法講習会（助成金あり）として申請することについて審議いただきたい。</p> <p>なお、センター申込期日の締切り後の申請であること、2022年度講習会（助成金あり）にて、267,654円の収益があることの2点を申し添える。</p> <p>講習会名：「急性期呼吸理学療法の実践」 申請者：上村洋充氏（大阪鉄道病院）</p> <p style="text-align: right;">添付資料：あり</p>		
理事会での意見・内容等	受託研修部で募集を行った協会主催理学療法講習会より1件問い合わせあり。講師には、次回開催時申し込み人数に達した時点で締め切る必要性を伝える方針となる。		
審議結果	審議の結果、条件付きで承認となった。		
備考	対応部局または理事氏名 生涯学習局 村西壽祥		

大阪府理学療法士会生涯学習センター 理事会議題

【審議】

提出者	村西壽祥	職名	生涯学習局 理事
議題	第5回生涯学習研修集会の開催日および会場について		
内容及び提出趣旨	<p>(提出趣旨)</p> <p>第5回生涯学習研修会の開催日案および会場案について、開催日については、2案を検討している。開催日案および会場案についてご審議いただきたい。</p> <p>開催日案</p> <p>①2023年7月1日(土)：従来の開催予定日 今年度は全国研修会が5月のため、他の学会等と重なる日が少ないが、今後も重ならないかは不明。大阪理学療法学会と連日開催となることが参加者にとって負担となる可能性がある。</p> <p>②2023年9月30日(土)または10月1日(日)：9月最終週の土日 大阪理学療法学会と重なることはないが、他の関連学会と重なる可能性がある。</p> <p>会場案</p> <p>2023年7月1日(土)に大阪国際会議場が予約されているが、ハンズオン研修の実施を考え、大和大学でのハイブリッド開催を進めていきたい。</p> <p style="text-align: right;">添付資料：あり</p>		
理事会での意見・内容等	<p>前回提案した9月30日、10月1日となれば国際会議場のキャンセルが必要となるが12月末までであれば30%(80万円)のキャンセル料となる。今後の費用面やハンズオンセミナーの開催を考慮すれば大和大学の方での開催を検討する必要あり。対面であるのかオンラインであるのかで会場の規模も検討が必要であるとのこと。</p> <p>他団体の学会との重なりを考慮し、かつ会員からの意見で連日の参加が難しいことから開催日を7月から9月の最終週に日程を変更する方針となった。それに伴い会場も国際会議場から大和大学に変更となる。国際会議場の費用と大和大学での費用を比較し、次回理事会で詳細を提示することとなった。</p>		
審議結果	<p>審議の結果、継続審議となった。</p>		
備考	<p>対応部局または理事氏名 生涯学習局 村西壽祥</p>		